

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	基礎製図 B		
科目基礎情報								
科目番号		12226		科目区分		専門 / 選択		
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年		2		
開設期		後期		週時間数		2		
教科書/教材		「機械製図」林 洋次監修（実教出版）／「機械製図演習」 近藤巖 編（パワー社）						
担当教員		田中 淑晴,大原 雄児						
到達目標								
(ア)製図の基礎である三角法、投影図の描き方を理解する。 (イ)スケッチの手法を理解する。 (ウ)スケッチ図から製作図を作成することができる。 (エ)ねじの種類と特長について理解する。 (オ)ねじ規格について理解する。 (カ)ねじの製図方法について学び、製図することができる。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		製図の基礎である三角法、投影図の描き方を理解し、作図することができる。		製図の基礎である三角法、投影図の描き方を理解する。		製図の基礎である三角法、投影図の描き方を理解できない。		
評価項目2		スケッチの手法を理解し、作図することができる。		スケッチの手法を理解する。		スケッチの手法を理解できない。		
評価項目3		スケッチ図を修正することなく製作図を作成することができる。		スケッチ図から製作図を作成することができる。		スケッチ図から製作図を作成することができない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要		設計技術は工学の基礎学力に裏打ちされた高度な技術と独創的な着想が重要である。加工法を考えた独創性豊かな設計を重視する。機械技術者として必要な製図の基礎を前期に引き続いて学ぶ。先ず基本的な機械要素である、ねじの種類等について学び、その製図法について具体的に学ぶ。次に、軸受を題材としてスケッチを実際に行い、スケッチ図を描く。そのスケッチ図から製作図を描く。						
授業の進め方・方法								
注意点		製図用具一式を用意すること。						
選択必修の種別・旧カリ科目名								
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		2週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		3週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		4週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		5週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		6週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		7週	スパナ、豆ジャッキの製図		スパナ、豆ジャッキの製図ができる。			
		8週	軸受のスケッチ		軸受のスケッチができる。			
	4thQ	9週	スケッチ図（軸受）から製作図の作成		スケッチ図（軸受）から製作図の作成ができる。			
		10週	スケッチ図（軸受）から製作図の作成		スケッチ図（軸受）から製作図の作成ができる。			
		11週	スケッチ図（軸受）から製作図の作成		スケッチ図（軸受）から製作図の作成ができる。			
		12週	ねじの種類、ねじの規格		ねじの種類、ねじの規格を理解する。			
		13週	ねじの製図		ねじの製図ができる。			
		14週	ねじの製図		ねじの製図ができる。			
		15週	ねじの製図		ねじの製図ができる。			
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
			課題		合計			
総合評価割合			100		100			
基礎的能力			100		100			